

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立本田小	学校	児童数	131人
---------	----	-----	------

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	<sup>20m</sup> シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	14.20	16.70	29.60	29.00	32.50	9.85	133.40	16.70	43.40
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.20	17.00	38.10	28.50	25.40	10.37	122.80	11.10	46.30
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

本田小学校の結果を大阪市平均・全国平均と比較すると、体力合計点は本田小学校が平均44.6点（男子43.4点/女子46.3点）で、大阪市52.1点（男51.5点/女52.6点）、全国53.5点（男53.0点/女54.0点）より低い状況である。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」では、「好き」「やや好き」と肯定的な意見の割合が本田小学校は89.2%（男子95.8%/女子79.2%）で、大阪市89.3%（男93.4%/女85.0%）、全国89.7%（男93.4%/女85.8%）と比べ、全体としてはほぼ同程度の水準であった。

一方で、本田小学校は男女差が大きいことが特徴として見られる。また、1週間の総運動時間が60分未満の割合は、本田小学校が20.9%（男子17.9%/女子25.6%）で、大阪市15.8%（男11.7%/女20.0%）、全国13.5%（男9.8%/女17.3%）より高い値となっている。全体として、本田小学校は体力合計点が大阪市・全国より低い一方で、「運動が好き」の割合は同程度であり、運動時間60分未満の児童の割合が相対的に高い状態である。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、児童が運動に親しみ、「やってみたい」「できた」と感じられる経験を積み重ねられるよう、年3回「わくわくスポーツタイム」を実施してきた。競争だけに偏らない運動遊びや、仲間と協力して取り組める活動を中心に構成し、運動が得意な児童も苦手な児童も参加しやすい雰囲気づくりを大切にしてきた。運動委員会と連動し、準備・運営や声かけを工夫する中で、児童が主体的に場をつくる姿も見られるようになり、運動に対する前向きな意識や、友達と関わりながら活動を楽しむ姿が育ってきた。

一方で、体力・運動習慣に関する結果を大阪市や全国と比較すると、体力合計点は低い傾向があり、日常的な運動量の確保という点では改善の余地がある。今後は、「わくわくスポーツタイム」を継続しつつ、取り組みを年3回の行事にとどめず、学校生活の中に定例的な運動機会を埋め込むことが重要である。具体的には、業間に短時間で取り組める運動タイムを設定し、走る・跳ぶ・投げるといった基礎的な動きを、無理なく継続できる形で日常化していく。あわせて、運動委員会が中心となり、放送での呼びかけ、活動の運営、安全確認、参加しやすいルールの工夫を担うことで、児童主体で継続できる仕組みに高めたい。さらに、継続や自己更新を認める仕掛け（カード化や目標設定）を取り入れ、運動が苦手な児童も「少しずつ伸びる実感」をもてるよう支援する。年度内には取り組みの振り返りの場を設け、児童の実態を丁寧に捉えながら改善を重ねていく。